



市の本年度の主要事業などについて説明する市長（細江地区）

**地震・津波対策**  
市として早急に地震津波対策に取り組んでほしい。

今年度、沿岸部の5つの地区（相良・片浜・地頭方・川崎・細江地区）の皆さんには「地区津波防災まちづくり計画」を作っていたいただき、これと市の計画案を一つにして、市の「津波防災まちづくり計画」を作成します。  
地震津波対策の基本的な考え方、第一に人の命を守ることに。それから、避難所などで生活する皆さんの生活を守る。その後、復旧・復興という順序になります。  
具体的な事業内容は、地区の計画を参考にした上で検討していきますが、まず、平成25年度から27年度までの3年間で、避難所や避難タワーなどの施設整備をはじめ、人の命を守る事業に取り組みたいと考えています。以降の防災対策は、中期と長期の対策に分けて、重要度が高い事業、効果が大きい施策から、順次進めていきます。  
中長期的な地震津波対策は、1年間ではまだまだ議論が尽きませんので、継続的に市民の皆さんと話をさせていた

くなど、市民の皆さんが、主体となって取り組んでいけるような仕組みをつくっていきたくと考えています。

**避難所の現状**  
避難所の現状について教えてほしい。

東日本大震災後に避難所の見直しを行い、現在指定避難所は31カ所、海拔10m以上の避難所は16カ所です。  
収容人員は約1万4千人と試算していますが、東海・東南海・南海の三連動地震を踏まえた県の第4次地震被害想定では、対応できる避難所が不足することも予想されます。  
こうしたことから、新たに高台の幼稚園や保育園などを避難所に加えるとともに、事業者などの協力により、工場や倉庫などの民間施設を避難所に指定することで、全体数の確保に努めていきたいと考えています。  
また、甚大な災害が発生した場合、こうした対策でも避難所が確保できない恐れがありますので、県内外の他市町との応援協定などを進め、遠隔地への避難なども検討していきます。

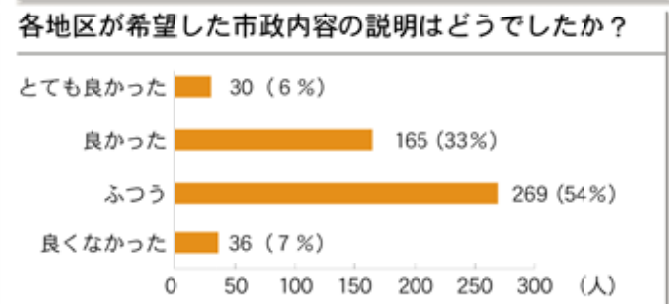
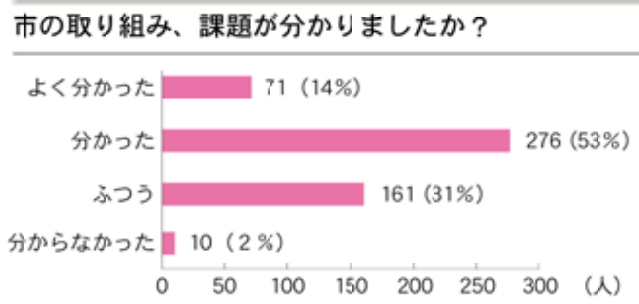
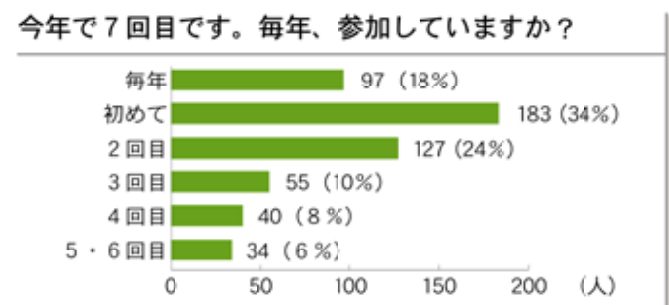
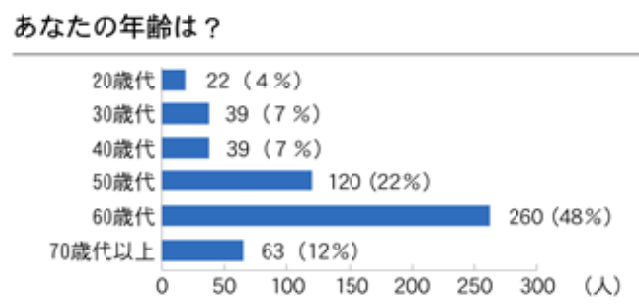
**通学路の点検**  
歩道のない通学路の一斉点検をしてほしい。

小中学校の通学路の総延長は、約150キロとなっています。このうち、歩道のない通学路は85%程度で、ほとんど歩道が整備されていないのが現状です。  
学校の通学路については、毎年度初めに各学校が点検を行っています。危険な場所や交差点、地震で倒壊が心配されるようなブロック塀などを地図に記入し、児童生徒に注意を促しています。  
今年度、通学途中に児童が自動車事故で亡くなるという悲しいニュースが全国で相次いだことから、あらためて各学校で、全ての通学路の総点検を実施しました。  
この結果を踏まえ、8月には警察や県などとともに、現場確認や対策の検討を行いました。  
今後、児童生徒の安全を確保するため、区画線の引き直しやラバーポール、ガードパイプなどの設置、通学路の変更など、地域の皆さんと一緒に、対策を進めていきたいと考えています。

## 市民と共に、これからを考える 市役所のおでかけトークが開催されました

「市役所のおでかけトーク」が、市内10会場で開催され、990人の皆さんが参加しました。トークでは、市長をはじめとする市職員が本年度の主な事業や地震津波対策、地区の希望した市政内容などについて説明するとともに、市民の皆さんからの質問や意見にお答えしました。会場でもいただいた質問や意見の中から主な内容をお知らせします。  
問い合わせ 秘書広報課 西川 ☎230052

◆おでかけトーク アンケート結果 \*端数処理により合計が合わない場合があります。  
今後の取り組みに活用するため、会場でアンケート調査を実施しました。



今年、市内10の小学校区を単位とした「地区自治推進協議会」ごとに会場を設けました。参加者は、昨年より200人以上の増加となりました。

◆各会場データ（地区が希望した主な市政内容や参加人数など）

対象地区	実施日	会場	地区が希望した主な市政内容	参加人数
細江	6月27日(日)	細江コミュニティセンター	▶細江小校舎屋上避難環境の整備 ▶青池地内の交差点安全対策	101人
地頭方	7月3日(日)	トーク地頭方	▶地頭方消防分遣所の建設 ▶浜岡原発の事故対応	94人
川崎	6日(金)	さざんか	▶海岸地域への津波避難所の建設計画 ▶榎原総合病院の診療科目の開設	175人
相良	10日(日)	市史料館	▶津波防災対策 ▶今後の財政見直し ▶国道150号バイパスの計画	117人
勝間田	11日(日)	勝間田会館	▶農業振興地域の思い切った見直し	102人
牧之原	13日(金)	牧之原コミュニティセンター	▶防災対策による市内企業の移転 ▶災害による避難場所	41人
片浜	17日(日)	片浜コミュニティ防災センター	▶浜岡原発の永久停止発表 ▶三連動地震による予想津波対策	49人
坂部	20日(金)	坂部区民センター	▶特産茶の不況対応 ▶空港隣接地域振興事業の推進と地域発展施設の充実と活用	98人
菅山	24日(日)	菅山農業就業改善センター	▶これからの牧之原市 ▶菅ヶ谷川の雑草対策	107人
萩間	31日(日)	萩間公民館	▶萩間消防分遣所のあり方 ▶榎原総合病院の緊急医療体制の整備	106人
計				990人

各会場の会議録は、ホームページや両庁舎の情報公開コーナーで閲覧できます。HP <http://www.city.makinohara.shizuoka.jp>